殺虫剤
ニテンピラム粒剤

ベストガード®粒剤

農林水産省登録　第19103号
（住友化学(株)登録）
性状：淡褐色細粒
毒性：普通物(毒物及び劇物に該当しないものを指していう通称)
危険物：非該当
有効年限：4年
包装：1kg×12（販売終了），3kg×6

有効成分：ニテンピラム（化管法第2種）・・・・・1.0%

殺虫剤分類　４Ａ

ベストガード®は住友化学(株)の登録商標です。

特長

○ユニークな作用を持つベストガードは優れた浸透移行性と効果の持続性により、定植時植穴処理（野菜）・生育期株元散布　（ねぎ・花き）・育苗期後半株元処理（なす・レタス）により野菜・花き類の吸汁性害虫の省力防除が可能です。
○従来の神経系殺虫剤（有機リン剤、カーバメート剤、合成ピレスロイド剤等）に感受性の低下した害虫にも高い効果を示します。また、難防除害虫マメハモグリバエの初期密度も抑制できます。
（野菜・花き類の場面）
○野菜・花き類の重要害虫アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類等を、定植時植穴処理、育苗期後半株元処理、生育期株元処理にて長期間防除します。
○吸汁性害虫防除と同時にマメハモグリバエの密度抑制効果が認められます。
○処理薬量が少なく経済的です。水溶剤との体系防除により効率的防除が可能です。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ニテンピラムを含む農薬の総使用回数
ばれいしょ	アブラムシ類	3kg/10a	植付時	1回	植溝処理 土壌混和	5回以内 （植付時までの処理は1回以内、 植付後は4回以内）
きゅうり	コナジラミ類 アブラムシ類 アザミウマ類	5g/培土ℓ	は種時 鉢上げ時	1回	育苗培土混和	4回以内 （定植時までの処理は1回以内、 定植後は3回以内）
	アブラムシ類 コナジラミ類	1g/株	育苗期		株元処理	
	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類	1～2g/株	定植時		植穴処理 土壌混和	
カリフラワー	アブラムシ類 アザミウマ類	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 （30×60cm、 使用土壌約1.5～4ℓ） 当り50g	育苗期後半	1回	散布	5回以内 （育苗期は1回以内、 定植時は1回以内、 定植後は3回以内）
	アブラムシ類	1g/株	定植時		植穴処理 土壌混和	
ブロッコリー	アブラムシ類 アザミウマ類	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 （30×60cm、 使用土壌約1.5～4ℓ） 当り50g	育苗期後半	1回	散布	5回以内 （育苗期は1回以内、 定植時は1回以内、 定植後は3回以内）
		1g/株	定植時		植穴処理 土壌混和	

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ニテンピラムを含む農薬の総使用回数
すいか メロン	アブラムシ類 コナジラミ類	1g/株	育苗期	1回	株元処理	4回以内 （定植時までの処理は1回以内、 定植後は3回以内）
	アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類	1～2g/株	定植時		植穴処理 土壌混和	
なす	アブラムシ類	5g/培土ℓ	は種時又は鉢上げ時	1回	育苗培土混和	4回以内 （定植時までの処理は1回以内、 定植後は3回以内）
	アブラムシ類 コナジラミ類	1g/株	育苗期		株元処理	
		セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 （30×60cm、 使用土壌約1.5～4ℓ） 当り50g	育苗期後半		散布	
	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類	1～2g/株	定植時		植穴処理 土壌混和	
	アブラムシ類	2g/株	収穫前日まで	3回以内	生育期 株元散布	
トマト ミニトマト	アブラムシ類 コナジラミ類	5g/培土ℓ	は種時又は鉢上げ時	1回	育苗培土混和	4回以内 （定植時までの処理は1回以内、 定植後は3回以内）
		1～2g/株	育苗期		株元処理	
	アブラムシ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 （30×60cm、 使用土壌約1.5～4ℓ） 当り50g	育苗期後半		散布	
	アブラムシ類 コナジラミ類	1～2g/株	定植時		植穴処理 土壌混和	
	ハモグリバエ類	2g/株				
ピーマン	アブラムシ類 コナジラミ類	1g/株	育苗期	1回	株元処理	4回以内 （定植時までの処理は1回以内、 定植後は3回以内）
	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ コナジラミ類	1～2g/株	定植時		植穴処理 土壌混和	
ししとう	アブラムシ類 コナジラミ類	1g/株	育苗期	1回	株元処理	4回以内 （定植時までの処理は1回以内、 定植後は3回以内）
	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	1～2g/株	定植時		植穴処理 土壌混和	
とうがらし類（ししとうを除く）	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	1～2g/株	定植時	1回	植穴処理 土壌混和	4回以内 （定植時までの処理は1回以内、 定植後は3回以内）
いちご	アブラムシ類	1g/株	定植時	1回	植穴処理 土壌混和	4回以内 （定植時の土壌混和は1回以内、 株元散布及び散布は合計3回以内）
	クロバネキノコバエ類	1～2g/株	収穫前日まで	3回以内	株元散布	

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ニテンピラムを含む農薬の総使用回数
ねぎ	アザミウマ類 ハモグリバエ類	5g/培土ℓ	は種時	1回	育苗培土混和	4回以内 （定植時までの処理は1回以内、 定植後は3回以内）
	アザミウマ類	6kg/10a			作条処理 土壌混和	
		セル成型育苗トレイ1箱 または ペーパーポット1冊 （30×60cm、 使用土壌約3～4ℓ） 当り50g	育苗期後半 ～定植当日		散布	
	アザミウマ類 クロバネキノコバエ類 ハモグリバエ類	6kg/10a	定植時		植溝処理 土壌混和	
	アザミウマ類 ハモグリバエ類		収穫前日 まで	3回以内	株元処理	
わけぎ あさつき	ハモグリバエ類	6kg/10a	定植時	1回	植溝処理 土壌混和	1回
しゅんぎく	アブラムシ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類	9kg/10a	定植時	1回	植溝処理 土壌混和	2回以内 （定植時の土壌混和は1回以内、 株元処理は1回以内）
			収穫3日前 まで		生育期 株元処理	
レタス	ナモグリバエ	10g/培土ℓ	は種時	1回	育苗培土混和	4回以内 （定植時までの処理は1回以内、 定植後は3回以内）
		0.5～1g/株	育苗期後半		株元処理	
	アブラムシ類	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 （30×60cm、 使用土壌約1.5～4ℓ） 当り50g			散布	
食用ぎく	アブラムシ類 ミカンキイロアザミウマ マメハモグリバエ	2g/株	収穫前日 まで	2回以内	生育期 株元散布	4回以内 （株元散布は2回以内、 散布は2回以内）
すいぜんじな	アブラムシ類 アザミウマ類 ハモグリバエ類	9kg /10a	定植時	1回	植溝処理 土壌混和	2回以内 （定植時の土壌混和は1回以内、 株元処理は1回以内）
			収穫3日前 まで		生育期 株元処理	
ズッキーニ	アザミウマ類	1～2g/株	定植時	1回	植穴処理 土壌混和	1回
うり類 （漬物用）	アブラムシ類	1～2g/株	定植時	1回	植穴処理 土壌混和	1回
きく	ミカンキイロアザミウマ マメハモグリバエ	2g/株	発生初期	4回以内	生育期 株元散布	4回以内
	アブラムシ類	1～2g/株				
きんせんか	マメハモグリバエ	2g/株	発生初期	4回以内	生育期 株元散布	4回以内
	アブラムシ類	1～2g/株				
花き類・ 観葉植物 （きく、きんせんかを 除く）	アブラムシ類	3～5g/培土ℓ	定植前	1回	培土混和	4回以内
		1～2g/株	発生初期	4回以内	生育期 株元散布	

使用上の注意事項

●使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
●本剤使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
●マルハナバチを利用する場合、本剤使用後20日目ごろより後に導入してください。ただし、影響日数は環境条件により多少変動する場合があるので注意してください。
●ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
●散布の際は必ず農薬用マスクなどを着用し、作業後はうがいをしてください。

水産動植物に係る注意事項

●水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
●散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

●直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。